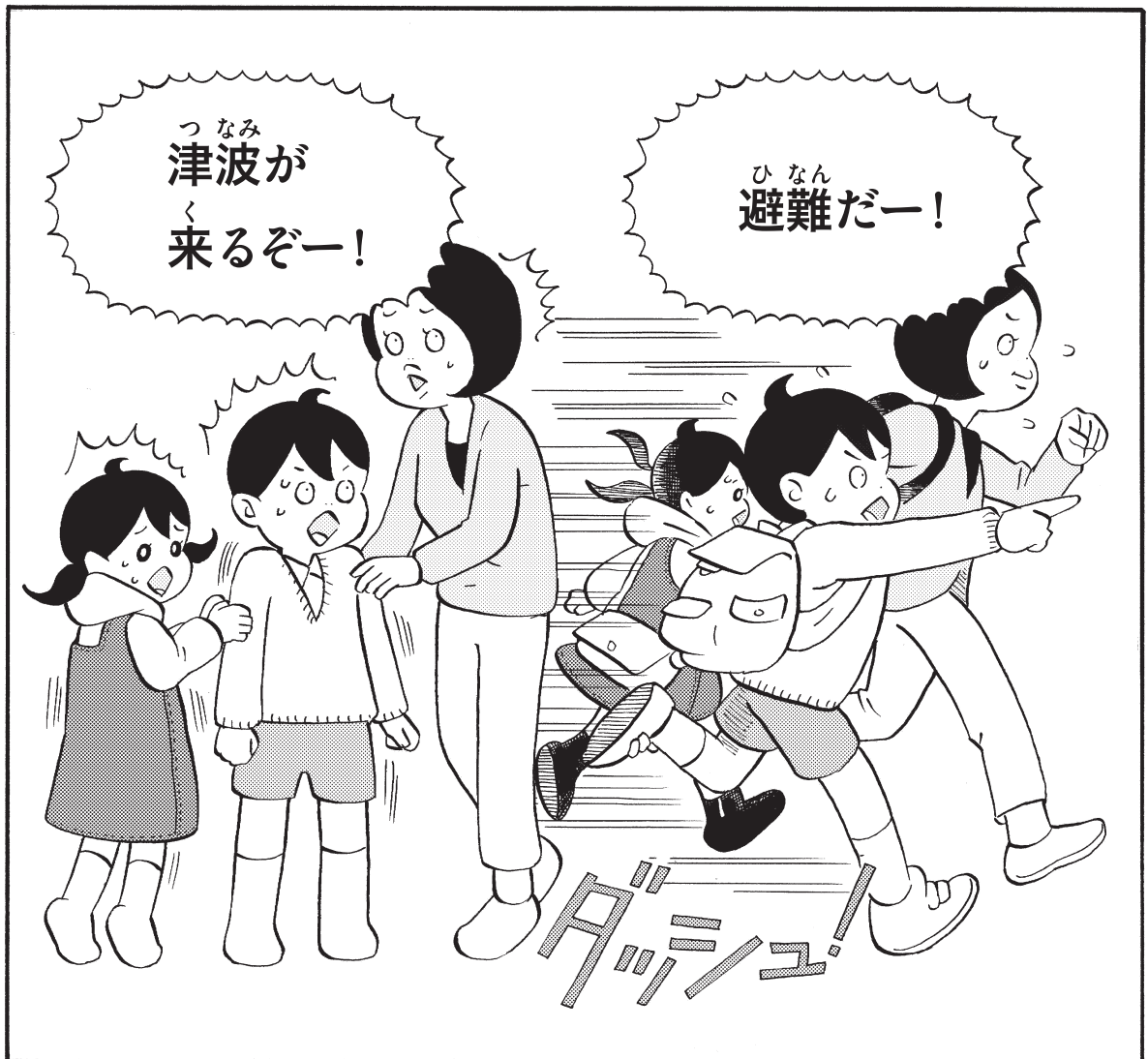




[地震後、津波が起こったら]

# すぐに避難する

- ▶ 津波警報が出たらできるだけ早く避難する
- ▶ 津波の心配があれば避難を始める



## すぐに避難する

### ■ 状況シートの説明



#### ▶ 場面ごとの説明

- ① 「津波が来るぞ!」「早く逃げないと危ないぞ!」。窓の外では、近所の人が急いで避難しています。
- ② 家の中では、「大事な食器、割れちゃった」と、お母さんは割れた食器を片付けています。
- ③ 津波警報のサイレンが「ウーウー」と鳴り響いています。お母さんは、まだ「片付けなきゃ」と言っています。焦っているみなとくんはお母さんに、「○○○○」

#### ▶ セリフの例 (行動)

「早く避難しないと」  
 「津波警報が鳴っているよ」  
 「何しているの、早く」

#### ▶ 発問例

- ・津波警報のサイレンが鳴ったら、どうしますか?
- ・みなとくんは、なぜ避難しないといけないと思ったのでしょうか?
- ・津波警報のサイレン以外にも、どんな時に避難しなければいけませんか?

### ■ 教訓シートの説明



#### ▶ 津波警報が出たらできるだけ早く避難する

- ・地震が起こった後、津波警報が発令されたら、非常持ち出し袋を持ってすぐに避難しましょう。
- ・あわてていても、冬はコートやジャケットを着て、暖かい服装で避難しましょう。

#### ▶ 津波の心配があれば避難を始める

- ・津波警報がなくても、警報が出たことを知らなくても、地震が起こって津波の心配がある時は、できるだけ早く避難を始めることが大切です。
- ・次のような場合に、津波が来る恐れがあります。
  - ▶ 揺れが大きく長く続いた (マグニチュード 6.5 以上)
  - ▶ 震源が海で、その深さが 10 ~ 30km 程度と浅い
  - ▶ 避難している人がいる
  - ▶ 海や川で水が引いていくのが見えた
  - ▶ 海から水が上がってくるのが見えた

### ■ 東日本大震災の教訓

津波から逃れた人の中には、「津波はひたひたとくる」「ちよろちよると出てきた」「すぐに水が来たわけではなく、徐々に上がってきた」と、気が付いたら津波が身近に押し寄せていたと話す人もいます。そうなる前に、「物資は数日経てば必ず手に入るので、身ひとつでもまずは避難する」ことが大切です。